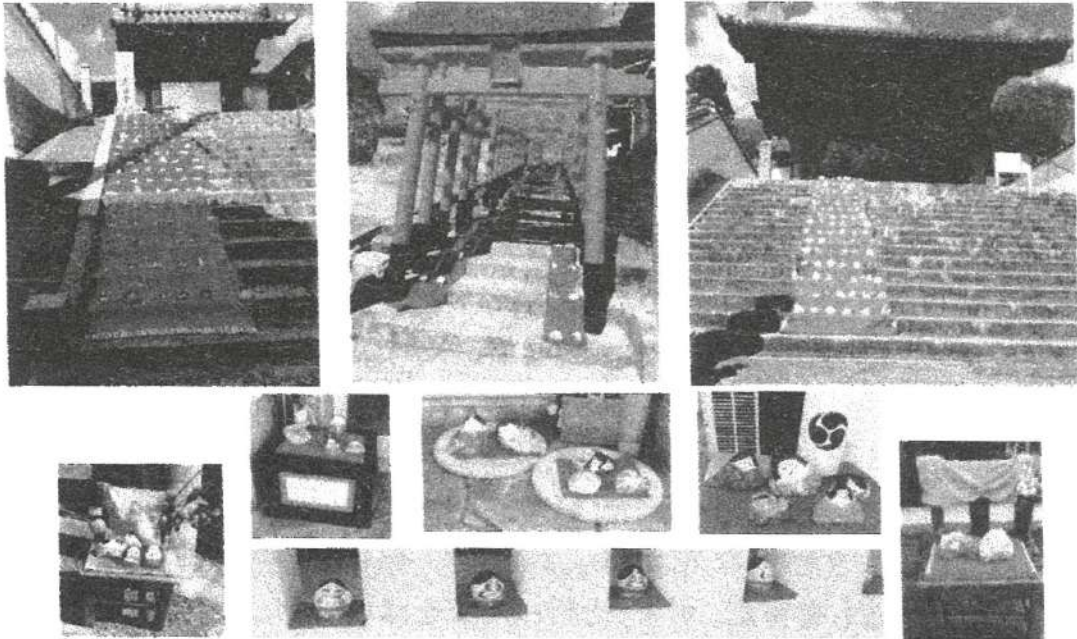


充実度増す 本町の石雛飾り



町の隅々まで飾られた様々なお雛様

R8.3.14 撮影 鈴木健次(宮浦)

恒例になった本町の石で出来たお雛様を飾るお雛祭り。重い雛を高い石段に飾るといふ重労働である。それに加えて各戸の玄関前などに飾る方法も年々工夫が進み、台や敷物、飾り場所も多彩になり、町の中心部にある豪華な本格的七段飾りに見守られた一大イベントになったと感じられ、見物人達も感激していた。

四月の行事	各地	05日(日)	御調八幡宮春季例祭
			11:00 神事 12:30 久井町坂井原芸能一座公演
		08日(水)~19日(日)	9:00~17:00 沼田西の「エヒメアヤメ」一般公開
		12日(日)	鉢ヶ峰大祭
		19日(日)	第27回 沼田川クリーンキャンペーン 旧三原・本郷・大和など全沼田川流域の清掃活動
行事	会	09日(木)	春のハイキング 佐木島ツアー
		25日(土)	勉強会 「三原志稿(3-4)」 実施要領は12頁に記載

P 1	表紙…表題： 充実度増す本町の石雛飾り	行事予告
	写真： 町の隅々まで飾られた様々なお雛様	
2	夏に花咲く夾竹桃	幸崎町 行長 啓三
3	「創立卅五周年記念誌」への投稿募集！	事務局
4~7	資料から読みとる江戸時代の三原(完結編) 安田女子大学教授	島田 大助
8~11	三原城下町について(1) 三原市文化財協会 前会長	橋本 敬一
12	会よりの便り	事務局

うづき
卯月ひのえうま
丙午

AJ2686

令和八年

AD2026

今月の各地

むら くら。

まち まち

歳時記

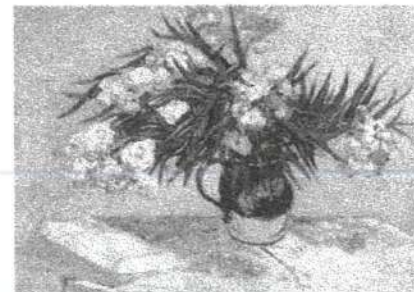
夏に花咲く夾竹桃

幸崎町 行長 啓三

突然の原稿依頼に、頭をよぎったのは「夏に花咲く夾竹桃」であった。記事掲載季節には少し早いかもしれないが…。

身近にある植物の中で、気をつけておかなければならない植物として、キョウチクトウ・ヨウシュヤマボゴウ・アジサイ・シキミ等を生物研究家の谷本雄治先生が農業新聞に特集されていた。

「燃えてなお襲いかかる」キョウチクトウ。大気汚染に強い木なので、公園や校庭で見かける事も多い。夏にはきれいな花が咲くが、その花も葉、枝、根、樹液も有害だ。ポキッと折った枝をはしや串の代わりにして、救急車を呼んだ例もある。枝を燃やす煙も、中毒症状を招く。ながめるだけにして、手でふれないのが一番と先生は教えてくださった。



ゴッホのキョウチクトウ

キョウチクトウと聞くと、小学校の時、平和教育の中で「夏に咲く花 夾竹桃 戦争終えた その日から…」と、被爆焦土の広島にいち早く花を咲かせ人々の心に希望と勇気を与えた花として世界の恒久平和を祈念し歌い継いできた記憶がよみがえる。

キョウチクトウは優れた園芸植物であるが、強い経口毒性があり、野外活動の調理に用いたり、家畜が食べたりしないよう注意が必要である。過去にも、西南戦争の時、官軍の兵隊がこの箸で弁当を食べて、中毒者を出したという記録が残っている。

乾燥や大気汚染に強いため、工業地帯や市街地緑化の街路樹として利用されるとともに、燃えにくく火に強いため(防火樹)としても知られているが、火事等の際、燃えたキョウチクトウの煙を吸うと中毒症状を起こす危険性があるという。消防団員も周りの人も特に注意が必要かも。

花言葉は、「危険な愛」「用心」「油断大敵」「たくましい精神」「心の平和」であり、この植物のもつ性質が置かれた状況の中で、見事に表現されているように思えるのである。

レキカンだより

みはら歴史と観光の会

723-0051 三原市宮浦6丁目 9-32

令和8年4月

検索

わが町三原

～みはら市民協働サイト「つなごうねっと」加入団体～

レキカンは新入会員・再入会員を募集・歓迎しております

行事報告

- 02月27日 月報発送配布作業(奥川、大原、岡田、小川、川上、桑田、小森、
正田哲、瀬畑、金森、西丸、西村、松竹、三好他)
- 3月02日 3月度理事会(年間行事計画、三原市の観光改善への提案他)

行事予定

1. 勉強会

- (1) 日時 4月25日(土) 10時～12時
(2) 会場 サン・シープラザ3F 第2会議室
(3) 内容 「三原志稿(3-3)」の輪読

2. 行事予定

2.1 春のハイキング「佐木島ツアー」

参加者募集!

- (1) 実施日 4月9日(木)
(2) 行先・参加費 3月号に詳述されている内容で、当日払い
(3) 申込先 乗車・降車のバス停明記の上、事務局宛
(4) 申込締切 4月3日(金) 定員22名、先着順

2.2 県史協 臨地研修…大崎上島会場行。以前のこの欄で、3月号で参加募集すると記載しましたが、開催要領が明確になった時点で募集。